

事業中間報告書（11月20日時点）

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	猫のレスキューを通して命の大切さを伝える『猫レスキュー活動』
団体名	倉敷猫まもりの会
担当課	

1 事業の概要

事業計画書（様式第2号）に記載した「4 計画の概要と対象者」を転記してください。

保健所における猫の殺処分をなくすために、①猫のレスキュー活動に興味を持っている市民を対象に預かりボランティア説明会を開催 ②ミルクボランティアを育成するための講習会の実施 ③定期的に譲渡会を実施 ④参加されたボランティアさんへのアンケートの実施 ⑤パネル展開催と啓蒙活動

2 アウトプット（直接の結果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）に記載した「5 アウトプット（直接の結果）」の「指標」及び「事業実施後の数値目標」を転記し、11月20日時点の達成状況を数値で記入してください。

指標（転記）	事業実施後の 数値目標（転記）	11月20日時点 の達成状況
説明会実施回数・参加人数	2回開催／15人	—
預かりボランティア登録	5人	—
講習会実施回数・参加人数	2回開催／15人	1回／56人
ミルクボランティア登録	5人	9人
譲渡会の開催回数	12回	8回開催

3 事業の改善状況

事業を実施する中で改善してきたことを記入してください。

計画段階で、ミルクボランティア、預かりボランティアと分けて講習会を開催する予定にしていたが講習会の内容等が重複するので、ミルクボランティア講習会として開催し、受講後の参加者の方にアンケートを実施し、自身の出来るボランティアを選択してもらい形を変えた。
毎月開催の譲渡会は、開催告知を SNS を利用する事により沢山の方に譲渡会に来て頂き譲渡数も飛躍的に上がった。

4 未解決の課題

現時点で解決できていない課題を記入してください。

今回の補助金により、ボランティアを増やす目的としてはほぼ達成できたと思う。
半期振り返って、新しいボランティアさんへのサポートをもう少し細やかにするべきだったと思う。まず、飼育から里親募集までのフロー図を作成しメンバー全体で流れを把握出来る様にと検討中です。

5 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
ミルクボランティアを育成するための講習会	R1年5月12日	ライパーク倉敷	5人	56人
譲渡会	R1年5月26日	マキシマ電業	5人	約15人
譲渡会	R1年6月9日	マキシマ電業	6人	約15人
譲渡会	R1年6月30日	マキシマ電業	7人	約20人
譲渡会	R1年7月21日	マキシマ電業	7人	約10人
譲渡会	R1年8月18日	マキシマ電業	5人	約10人
パネル展 『赤ちゃん猫のすくいかた 小さな“いのち”を守るミルクボランティア』	R1年8月25日	玉島市民交流センター	8人	51人
譲渡会	R1年9月15日	マキシマ電業	7人	約40人
譲渡会	R1年10月13日	マキシマ電業	6人	約50人
譲渡会	R1年11月3日	マキシマ電業	6人	約40人